

## 寄贈図書リスト

銀河宇宙観測の最前線～「ハッブル」と「すばる」の  
 壮大なコラボ～、谷口義明著、四六判、248ペー  
 ジ、1,600円+税、海鳴社

彗星パンスペルミア～生命の源を宇宙に探す～、チャ  
 ンドラ・ウィックラマシング著、松井孝典監修、  
 所源亮訳、A5判、244ページ、1,900円+税、恒  
 星社厚生閣

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載い  
 たします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早め  
 にお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿くだ  
 さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・  
 所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担  
 当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7.  
 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、  
 (2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇  
 など）

### 茨城大学理学部教授または准教授

1. 教授または准教授 1名
2. (1) 宇宙科学教育研究センター（理学野物理学  
 領域）  
 (2) 茨城県水戸市
3. 観測天文学
4. 本センターは、国立天文台や大学VLBI連携に参  
 画する他研究機関と協力しながら、国立天文台茨  
 城観測局にある電波望遠鏡2基を運用しつつ、こ  
 れらを用いた研究・教育を推進しています。平成  
 21年5月に発足した研究に関するセンターです  
 が、平成30年4月からは、理学部附属センター  
 として組織変更の予定です。

本公募では、本センターの専任教員として研究  
 を推進しつつ、理学部・理工学研究科における教  
 育にあたる人材を求めます。具体的には、国立天  
 文台茨城観測局にある電波望遠鏡2基の運用で中  
 心的な役割を果たしつつ、これを活用した以下の  
 職務を推進していただきます。(1) 観測天文学  
 に関する教育・研究 (2) 教育研究にかかわる  
 他機関との連携体制の充実強化 (3) 一般社会

への情報発信、社会貢献

本学に在籍する教員と協力しながら、学部・大  
 学院での講義・実験・演習等の教育や、学部およ  
 び大学院生に対する研究指導を積極的にに行い、研  
 究を独立して意欲的に推進できる方を期待します。

5. (1) 平成30年4月1日  
 (2) なし（定年65歳）
6. 次の要件をすべて満たすもの。  
 (1) 博士の学位（外国において授与されたこれ  
 に相当する学位を含む）を有すること。  
 (2) 博士後期課程の研究指導を担当できるのに  
 十分な研究実績を有すること。  
 (3) 国立大学法人茨城大学就業規則第4条の2  
 [欠格事項] に該当しないこと。

本学就業規則は、以下のURLを参照ください。

<http://houki.admb.ibaraki.ac.jp/act/frame/frame110000024.htm>

このほか、電波天文観測装置の開発あるいは運用  
 にかかわった経験を有することが望ましい。

7. (1) 履歴書（写真貼付）  
 (2) 研究業績リスト（査読付き原著論文、国際会  
 議集録、著書、総説、その他に分類）  
 (3) これまでの研究概要と今後の研究計画  
 (2,000字以内)  
 (4) 教育への抱負（2,000字以内）  
 (5) 主要論文別刷5編以内（コピー可）  
 (6) 申請者について意見を述べられる方2名（国  
 内外を問わない）の氏名と連絡先（e-mailも  
 含む）
8. 平成29年7月31日（月）必着
9. (1) 〒310-8512 水戸市文京2-1-1  
 茨城大学宇宙科学教育研究センター長  
 百瀬宗武

(2) 百瀬宗武

電話 029-228-8402

e-mail: munetake.momose.dr@vc.ibaraki.ac.jp

10. 封筒の表に「宇宙科学教育研究センター教員応募書類在中」と朱書し、簡易書留等で送付してください。なお、原則として応募書類は返却いたしません。なお選考過程で必要と判断した場合、インタビューを実施することがあります（旅費等は自己負担）。
11. 「月給制」または「年俸制」のいずれかを選択することが可能です。「年俸制」の適用を希望するかどうかについては、採用決定時に確認させていただきます。男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、本学では女性の積極的な応募を歓迎いたします。また、教員採用にあたり業績等（研究業績、教育業績、社会的貢献、能力、資格等）の評価が同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。

〈個人情報利用目的について〉

茨城大学宇宙科学教育研究センターの教員公募に関連して提供された個人情報は、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の個人情報を除き、すべての個人情報は責任をもって破棄いたします。

## 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教授

1. 教授1名
2. (1) 大学院理学系研究科天文学専攻（天文宇宙物理学講座）  
(2) 東京都文京区本郷7-3-1
3. 天文学
4. 天文学専攻には現在、宇宙論、銀河形成進化、超新星、太陽恒星物理、星間物理学、系外惑星の研究グループがあり、理論および観測の研究を進めています（詳しくは、<http://www.astron.s.u-tokyo.ac.jp>参照）。これらのグループおよび理学系研究科附属天文学教育研究センターのグループとも協調しながら、大学院および学部教育に熱意をもって取り組み、観測・理論の双方を視野に入れて、世界第一線の研究をリードできる方を求めます。
5. (1) 2018年4月1日以降のなるべく早い時期  
(2) なし（65歳定年）
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書  
(2) 研究歴：これまでの研究内容の概要

- (3) 研究論文リスト：(a) 査読筆頭著者論文、(b) 査読共著論文、(c) その他業績の参考となる事項（非査読論文、和文論文、著書、招待講演等）、をそれぞれ別葉とし、新しいものから番号をふる。主要論文に印を付けること。

(4) 主要論文別刷（5編以内）

(5) 着任後の研究計画と教育や専攻運営についての抱負

(6) 少なくとも1名の国外研究者を含む、本人について意見を述べられる方3名の氏名と連絡先（e-mailアドレス）

8. 2017年7月14日(金) 必着

9. (1) 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学大学院理学系研究科天文学専攻  
専攻長 田村元秀

(2) Tel: 03-5841-4258

e-mail: motohide.tamura@nao.ac.jp

motohide.tamura@astron.s.u-tokyo.ac.jp

（念のため、双方へお送りください）

Subject: 天文専攻教授応募

10. 封筒の表に「人事応募書類」と朱書し、簡易書留で郵送してください。本研究科では、男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記の理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkei>

## 東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター准教授

1. 准教授1名
2. (1) 東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター  
(2) 東京都三鷹市大沢2-21-1
3. 観測天文学
4. 当センターは銀河天文学、電波天文学、恒星物理学の3部門および木曾観測所・アタカマ観測所で構成され、南米チリ・アタカマでTAO6.5m望遠鏡プロジェクトを推進しています。TAOの立ち上げをリードし、各部門と連携協力しながら科学的な成果を上げられる方を求めます。また天文学専攻の専任教員として大学院および学部教育も担当していただきます。
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期  
(2) なし（65歳定年）
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方

7. (1) 略歴書 (2) これまでの研究教育業績の概要 (3) 研究業績目録 (査読付きとそれ以外を分けること) (4) 主要論文別刷 (3編以内) (5) 着任後の研究計画と抱負 (6) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先 (e-mail アドレス)
  8. 2017年7月14日(金) 必着
  9. (1) 〒181-0015 東京都三鷹市大沢2-21-1  
 東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター  
 センター長 土居守  
 Tel: 0422-34-5021 Fax: 0422-34-5041  
 e-mail: doi@ioa.s.u-tokyo.ac.jp  
 (2) 提出先に同じ
  10. 封筒の表面に「准教授人事応募書類」と朱書きし、直接持参するか、簡易書留で郵送のこと。なお、特に要望がない限り、応募書類は返却いたしません。本研究科では、男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記の理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html
- 後の研究計画と抱負 (6) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先 (e-mail アドレス)  
 (7) 着任可能時期
8. 2017年7月14日(金) 必着
  9. (1) 〒181-0015 東京都三鷹市大沢2-21-1  
 東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター  
 センター長 土居守  
 (2) 天文学教育研究センター教授 河野孝太郎  
 電話: 0422-34-5029  
 e-mail: kkohno@ioa.s.u-tokyo.ac.jp
  10. 封筒の表面に「助教人事応募書類」と朱書きし、直接持参するか、簡易書留で郵送のこと。なお、特に要望がない限り、応募書類は返却いたしません。本研究科では、男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記の理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html

### 東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター特任助教

### 東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター助教 (女性または外国籍の方)

1. 助教1名
2. (1) 東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター  
 (2) 東京都三鷹市大沢2-21-1
3. 観測天文学
4. 当センターは、銀河天文学・電波天文学・恒星物理学の3部門および木曾観測所・アタカマ観測所で構成され、南米チリ・アタカマでTAO6.5 m望遠鏡プロジェクトを推進しています。これらの研究部門や天文学専攻のグループとも連携・協調しつつ、ALMAを活用した研究、また、超広帯域ミリ波サブミリ波分光器DESHIMAやミリ波サブミリ波多色カメラTESCAMなど新しい観測技術・機器の開拓的研究などに挑戦する若手研究者を求めます。また、天文学専攻の専任教員として大学院および学部教育にも参画していただきます。
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期  
 (2) なし (65歳定年)
6. 博士の学位を有する、女性または外国籍の研究者。
7. (1) 略歴書 (2) これまでの研究教育業績の概要 (3) 研究業績目録 (査読付きとそれ以外を分けること) (4) 主要論文別刷 (3編以内) (5) 着任後の研究計画と抱負 (6) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先 (e-mail アドレス)
8. 2017年6月27日(火) 必着
9. (1) 〒181-0015 東京都三鷹市大沢2-21-1  
 東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター  
 センター長 土居守  
 (2) 天文学教育研究センター教授 河野孝太郎  
 電話: 0422-34-5029  
 e-mail: kkohno@ioa.s.u-tokyo.ac.jp
10. 封筒の表面に「特任助教人事応募書類」と朱書き

し、直接持参するか、簡易書留で郵送のこと。なお、特に要望がない限り、応募書類は返却いたしません。本研究科では、男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記の理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html>

11. 「東京大学特定有期雇用教職員の就業に関する規程」に定める特任助教とする。給与は同規程に基づき経歴により決定する。

### 東北大学大学院理学研究科天文学専攻准教授

1. 准教授1名
2. (1) 東北大学大学院理学研究科天文学専攻  
(2) 東北大学大学院理学研究科(仙台市青葉区)
3. 広い意味での観測天文学(装置開発を含む)
4. 東北大学における観測天文学の研究(装置開発を含む)、学生の教育、および大学運営
5. (1) 決定後できるだけ早い時期  
(2) 任期なし
6. 大学院博士課程修了または同等以上
7. 履歴書、研究歴、業績リスト、主要論文別刷またはコピー(5編以内)、研究計画書、本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 2017年9月1日(金)(必着)
9. 提出先および問合せ先  
〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3  
東北大学大学院理学研究科  
天文学専攻長 千葉 柊司  
Tel: 022-795-6505 Fax: 022-795-6513  
e-mail: [chiba\\_AT\\_astr.tohoku.ac.jp](mailto:chiba_AT_astr.tohoku.ac.jp)
10. 応募書類は封筒に「親展」と朱書し、簡易書留で送付のこと。(応募書類はお返しいたしません。提出されたすべての個人情報、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、責任をもって破棄いたします。)
11. 給与は本学規程による。  
東北大学は男女共同参画を推進しています。詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/>

### 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻教授

1. 教授1名
2. (1) 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻

- (2) 大阪大学豊中キャンパス
3. 地球惑星科学(但し、地球表層環境、アストロバイオロジー、星・惑星系形成、宇宙現象と地球の相互作用、などの学際領域を含む)
4. 既存の研究グループと連携しながら、新しい地球惑星科学の研究分野を推進。学部/大学院教育および大学運営への積極的な貢献、物理学科の学生指導、全学の物理教育または地球科学教育。
5. (1) 平成30年4月1日以降のなるべく早い時期。  
(2) なし
6. 博士の学位を有すること。
7. (1) 履歴書  
(2) 研究業績リスト  
(3) 主要論文の別刷り(3~5編)  
(4) これまでの研究内容(A4で3頁程度)  
(5) 研究・教育に関する今後の計画と抱負(A4で3頁程度)  
(6) 意見を聞ける方(3名以下)の氏名、所属と連絡先
8. 平成29年7月31日(月)必着
9. (1) 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻専攻長 宛  
E-mail: [application@ess.sci.osaka-u.ac.jp](mailto:application@ess.sci.osaka-u.ac.jp)  
(2) 同上 寺田健太郎  
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1  
Tel: 06-6850-5495  
E-mail: [terada@ess.sci.osaka-u.ac.jp](mailto:terada@ess.sci.osaka-u.ac.jp)
10. 提出書類はPDFファイル(10MB以内)にまとめて電子メールで送付して下さい。受領確認を返信します。大阪大学は男女共同参画の方針に基づき女性の応募を歓迎します。
11. 大阪大学教職員給与規定(月給制)による。ただし、年俸制を希望することも可能である。

### 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

### 平成29年度国立天文台フェロー(年俸制職員特任助教)

1. 2016年9月(第109巻9号)以下、すべて共通
2. 泉拓磨(東京大学天文学教育研究センター・日本学術振興会特別研究員)
3. 2017年4月1日

2. 片岡章雅 (Institute for Theoretical Astrophysics, Center for Astronomy, Heidelberg University・日本学術振興会海外特別研究員)

3. 2017年4月1日

2. 白崎正人 (国立天文台理論研究部・日本学術振興会特別研究員)

3. 2017年9月1日

2. Hull, Charles (Harvard-Smithsonian Center for Astrophysics, NRAO・Jansky fellow)

3. 2017年9月1日

### 平成 29 年度国立天文台プロジェクト研究員 (年俸制職員特任研究員)

#### ○水沢 VLBI 観測所

1. 2016年11月(第109巻11号)以下,すべて共通
2. 杉山孝一郎(茨城大学宇宙科学教育研究センター・産学官連携研究員)
3. 2017年4月1日

2. 田崎文得(国立天文台水沢 VLBI 観測所・特任研究員)

3. 2017年4月1日

#### ○ハワイ観測所

2. Rusu, Cristian Eduard (Department of Physics, University of California, Davis・Postdoctoral Research Scholar)
3. 2017年7月25日(予定)

2. Suh, Hyewon (Institute for Astronomy, University of Hawaii・大学院生)

3. 2017年9月1日(予定)

#### ○チリ観測所

2. 斉藤俊貴(東京大学大学院理学系研究科・大学院生)
3. 2017年4月1日

2. Wu, Yu-Ting (Academia Sinica Institute of Astronomy and Astrophysics・Postdoc)

3. 2017年10月1日

#### ○JASMINE 検討室

2. 馬場淳一(愛媛大学宇宙進化研究センター・特定

研究員)

3. 2017年4月1日

#### ○先端技術センター

2. 永井誠(筑波大学数理物質系物理学域・研究員)

3. 2017年4月1日

## 研究助成

### 公益財団法人宇宙科学振興会 2017 年度 助成事業 2 件

公益財団法人宇宙科学振興会は宇宙科学分野における学術振興を目指し、2017年度も引き続き下記の助成事業を行います。それぞれの応募要項の詳細は当財団のホームページ: <http://www.spss.or.jp> に掲載しています。それぞれの公募に対する応募申請に際してはホームページをご参照のうえ、申請書をダウンロード・作成いただき必要な書類を添付のうえ、財団宛に電子メール ([admin@spss.or.jp](mailto:admin@spss.or.jp)) で申請ください。奮ってご応募いただくようご案内申し上げます。

#### (1) 国際学会出席旅費の支援

##### ●支援対象

宇宙理学(地上観測を除く)および宇宙工学(宇宙航空工学を含む)に関する独創的・先端的な研究活動を行っている若手研究者(当該年度4月2日で35歳以下)、またはシニアの研究者(当該年度4月2日で63歳以上かつ定年退職した者)で、国際研究集会で論文発表または主要な役割などが原則として確定している者。

●助成金額・件数: 1件あたり10~30万円程度、年間10件程度

##### ●申込受付時期

応募締切り2017年8月31日: 2017年10月1日~

2018年3月31日の間の出発者対象

応募締切り2018年2月28日: 2018年4月1日~

2018年9月30日の間の出発者対象

#### (2) 国際学会開催の支援

##### ●支援対象

宇宙科学研究を推進している国内の学術団体(研究所, 大学等)で、宇宙理学(地上観測を除く)及び宇宙工学(宇宙航空工学を含む)に関する国際学会、国際研究集会の国内開催を主催しようとする団体。

●助成金額・件数: 1件あたり30~50万円程度、年間3~5件程度

●申込受付時期

応募締切り 2017年8月31日: 2017年10月1日～  
2018年3月31日に開催の国際学会対象  
応募締切り 2018年2月28日: 2018年4月1日～  
2018年9月30日に開催の国際学会対象

●照会先

公益財団法人宇宙科学振興会事務局  
<http://www.spss.or.jp>  
〒252-5210 相模原市中央区由野台3-1-1  
e-mail: [admin@spss.or.jp](mailto:admin@spss.or.jp)  
Tel: 042-751-1126

**研究会・集案案内**

**東京大学木曾観測所および名古屋大学宇宙地球環境研究所 特別公開のお知らせ**

東京大学木曾観測所および名古屋大学宇宙地球環境研究所を一般の皆様にご公開いたします。当日は、普段近くで見ることができない望遠鏡や観測装置を間近に見ることができ、講演会、研究紹介なども行われます。

開催日時: 2017年8月5日(土)  
13時～18時: 講演会, 研究紹介など  
19時～21時: 天体観望会(雨天中止)  
2017年8月6日(日)  
10時～16時: 講演会, 研究紹介など

開催場所: 長野県木曾郡木曾町三岳10762-30  
交通: JR中央西線木曾福島駅または上松駅から車で約30分

問合せ先: 木曾観測所 TEL: 0264-52-3360  
木曾観測所ホームページ:  
<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>  
宇宙地球環境研究所ホームページ:  
<http://www.isee.nagoya-u.ac.jp/study02.html>  
※事前申込みは不要で、入場無料です。

**京都大学 飛騨天文台一般公開のお知らせ**

京都大学飛騨天文台では、来たる7月29日(土)に一般公開を行います。施設の公開と天体観望会を行い、京大天文台で現在行われている最先端の天文学研究を、わかりやすく説明します。事前申込が必要です。定員100名(抽選)。

〈一般公開〉

日 時: 2017年7月29日(土) 13:00～20:30

場 所: 岐阜県高山市上宝町蔵柱  
京都大学大学院理学研究科附属飛騨天文台  
公開施設:

ドームレス太陽望遠鏡(DST), 太陽磁場活動望遠鏡(SMART)  
65cm屈折望遠鏡, 60cm反射望遠鏡

内 容:

DSTによる太陽像と分光スペクトル観望(昼)  
SMARTによる太陽像の観察(昼)と解説  
65cm屈折望遠鏡および小型望遠鏡による夜間天体観望(土星など)  
最先端の天文学研究解説(講演)  
工作教室など体験型企画ほか

〈交通機関〉

公共交通機関がありませんので、JR高山駅または上宝支所(高山市上宝町本郷)までお越し下さい。

JR高山駅と上宝支所からシャトルバス(有料)を運行します。詳細は、附属天文台のホームページをご覧ください。

〈申込方法〉

ホームページからお申し込み下さい。  
受付期間: 6月15日(木)から6月30日(金)  
定員: 100名(申込多数の場合は抽選)  
抽選結果は、7月10日までにお知らせします。

〈問い合わせ先〉

〒506-1314 岐阜県高山市上宝町蔵柱  
京都大学飛騨天文台  
Tel: 0578-86-2311 Fax: 0578-86-2118  
E-mail: [hida2017@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:hida2017@kwasan.kyoto-u.ac.jp)  
E-mailでのお問い合わせの場合は、件名を「7/29 飛騨一般公開」として下さい。

〈附属天文台ホームページ〉

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

〈主催〉

京都大学大学院理学研究科附属天文台, NPO法人花山星空ネットワーク

〈後援〉

岐阜県高山市

**会 務 案 内**

**2018年度内地留学奨学金の希望者の募集**

内地留学奨学金は、日本国内の大学や天文台などの研究機関で研究者の指導を受けて研究活動を行う際の

消耗品・旅費等の経費の支援をするものです。

日本天文学会で学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員、アマチュア天文研究者が主な対象ですが、学生の応募も可能です。過去の奨学金の対象となった研究テーマは、学会ホームページ ([http://www.asj.or.jp/asj/naichi\\_app.html](http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html)) に掲載されています。なお、研究内容にふさわしい機関や指導者がわからない場合は、早めに内地留学奨学金選考委員長にご相談ください。多くの方々の応募をお待ちしています。

#### 募集要項

応募資格：日本天文学会員

採 択 数：若干名

留学期間：2018年4月から2019年3月までの12カ月のうち希望する期間。受入研究機関、指導教員（受入研究者）と相談して決定してください。研究終了後、2カ月以内に研究報告書の提出をお願いいたします。

支 給 額：25万円以下。支給は2018年4月を予定。

申 込 み：応募申請書に必要事項を記入し、指導教員の捺印とコメントを得たうえ、〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会事務長あてに郵送してください。

応募締切：2017年8月31日(木) 必着。

審 査：内地留学奨学金選考委員会（内規第5条）で審査のうえ、決定し、10月中旬に通知します。

応募用紙：日本天文学会事務所にあります。申請書の書き方例もありますので、事務所にご請求ください。学会ホームページ（「各種手続・書式」の「内地留学」の項、[http://www.asj.or.jp/asj/naichi\\_app.html](http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html)）からもダウンロードできます。なお、日本天文学会会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問合せ先：内地留学奨学金選考委員長 野澤恵（〒310-8512水戸市文京2-1-1 茨城大学理学部）

Tel: 029-228-8370

e-mail: [satoshi.nozawa.i@vc.ibaraki.ac.jp](mailto:satoshi.nozawa.i@vc.ibaraki.ac.jp)

### 編集委員会より

#### ご挨拶

このたび天文月報の編集に携わせていただくことになりました。微力ではありますが、天文学の美しい

世界とその魅力を伝えていく一助となれるよう尽力して参りたいと思います。

しかしながら、私の力は本当に微々たるものですので、よりよい天文月報を作り上げていくためには会員の皆様のお力添えが必要です。天文学研究や観測装置開発の最前線から基礎研究・広報普及活動等々を網羅する天文月報となるように、皆様からの投稿や記事のアイデアなどさまざまなインプットをいただけたらと思いますので、ご協力よろしくお願ひします。

編集長 小宮山裕（国立天文台）

2015～2016年度に引き続き、これからの2年間を担当させていただきます。京大飛騨天文台の上野です。1期目の2年間の間には、大きな特集1件と小さな特集1件、EUREKA1件、さらに記事22点の校正を担当いたしました。月報編集委員は事前に聞いていたよりもかなり時間の取られるお役目であることを痛感いたしました。太陽物理学分野のただ独りの編集委員として、あと2年間、少しでも太陽やその周辺分野の研究情報を発信できるよう、努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

上野悟（京大飛騨天文台）

今年度より編集委員を務めることになりました岡部です。新しい観測装置や大型サーベイのよる楽しい研究成果が今後も数多く報告されると思いますので、さまざまな分野にアンテナを張りながら、充実した記事を提供できるよう頑張ります。

岡部信広（広島大学）

引き続きあと2年間、編集委員を務めさせていただきますことになりました。自分の研究に関連する分野については特集を企画・提案するとともに、一方で天文学の周辺分野も含めてなるべく広い範囲からさまざまな内容の記事が集まるよう、努力したいと思います。よろしくお願ひいたします。

奥村真一郎（日本スペースガード協会）

今季から編集委員を務めさせていただきます国立天文台の押野です。天文学の最新の話や研究成果を知ることができる天文月報の編集作業にお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

押野翔一（国立天文台）

天文台内部の編集委員として主に校正にかかわっていきます。天文月報は比較的最近の研究の進展をその分野外の人に届けるのに、大きな役割を果たしている

と思います。今後も良い雑誌にできるよう、少しでもお手伝いできれば幸いです。

滝脇知也 (国立天文台)

今期より編集委員を務めます富田です。若手の方々にたくさん記事を書いてもらいたいと思っています。ところで、去年の目標は「安請け合いをしない」だったのですが、全く守れなかったため今年の目標も同じです。…来年も同じになりそうです。

富田賢吾 (大阪大学)

今期から編集委員を務めさせていただきます。超新星に関する理論的研究を専門としておりますが、天文月報は他分野の最先端の研究に触れられる読み物として毎号楽しみにしておりました。読者の皆さまに喜んでいただける記事作りを目指します。よろしくお願いいたします。

中村航 (福岡大学)

2期目に入りましたが、心新たにして務めさせていただきます。

萩原喜昭 (東洋大学)

天文月報は学生や若手が自分の仕事を宣伝するのにとても重要な雑誌です。私が最初のポストドクで京都大学に行って、少し分野の違う教授に挨拶した際、「君の月報の記事読んだよ。」とっていただき、自分のことを知ってもらえていてとてもうれしいと思った覚

えがあります。私も今度は編集のお手伝いをさせていただけるということで、そのときに恩返しが少しでもできるように活動をしていきたいです。よろしくお願いいたします。

松田有一 (国立天文台)

引き続き編集委員を務めさせていただきます。前任期中は2度特集を組ませていただきましたが、今期は面白い研究成果を見つけ次第、個別にお願いする方に力を入れたいと思います。特に近隣の皆様、よろしくお願いいたします。

諸隈智貴 (東京大学)

天文学の普遍的な魅力を多くの方にわかりやすく伝えることを心がけて、天文月報の魅力に貢献できればと思います。特に、データ解析、理論、実験など横をつなぐような企画も提案できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

山田真也 (首都大学東京)

## 訃報

会員の大石英夫氏は2016年6月6日にご逝去されました。満86歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol98** (5文字) の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光 (編集長), 上野悟, 大栗真宗, 奥村真一郎, 富永望, 萩原喜昭, 馬場彩, 平松正顕, 町田正博, 諸隈智貴, 吉田二美

平成29年6月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2017年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)